国土交通省

富山河川国道事務所

記者発表資料
平成 28 年 8 月 2 日
配布：県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

工事現場で活用できる新技術の説明会を開催

高岡地域道路安全対策協議会の会員が参加
今回で４回目！

●国土交通省は公共工事等の品質の確保や良質な社会資本の整備を目的として、ＮＥＴＩＳ（ネティス）（新技術情報提供システム）等を活用し、新技術の活用を促進しています。

●一方、富山河川国道事務所では高岡地域の道路工事の施工にあたり、労働災害、公衆災害、工事事故等の未然の防止や工事の円滑な遂行を目的として、高岡地域道路安全対策協議会を組織し、多様な安全活動により、事故等の防止に努めています。

●上記協議会の安全活動の一環として、平成25年度から現場の安全対策に資する新技術（ＮＥＴＩＳ登録技術のうち会員の関心が高い技術）の説明会を開催してきたところ、参加者から好評を得ていることから、今年度も以下のとおり開催します。

●新技術説明会の概要

開催日時：**平成28年8月3日（水）**　14:00～16:00
開催場所：高岡市福岡防災ステーション（富山県高岡市福岡町土屋14-1）
※詳細は別紙１をご参照ください。
説明対象技術：以下の５技術を予定
① 工事現場スピード表示システム（HK-120036-A）
② 充電式特殊 LED 投光器「X-teraso(エックステラソー)Ver.N」（CB-150013-A）
③ 各種センサー自動警報メール発信装置（KK-140012-A）
④SnapChamber 電子小黒板アプリ（KT-160005-A）
⑤ ecoMo systems(エコモシステム)　（HK-110023-A）
参 加 者：高岡地域道路安全対策協議会の会員など約４０名
（会員は富山河川国道事務所が発注する道路工事の施工者）
駐 車 場：**取材を希望される方は、13:30～14:00迄にお越し下さい。（駐車可）**

●説明会のポイント

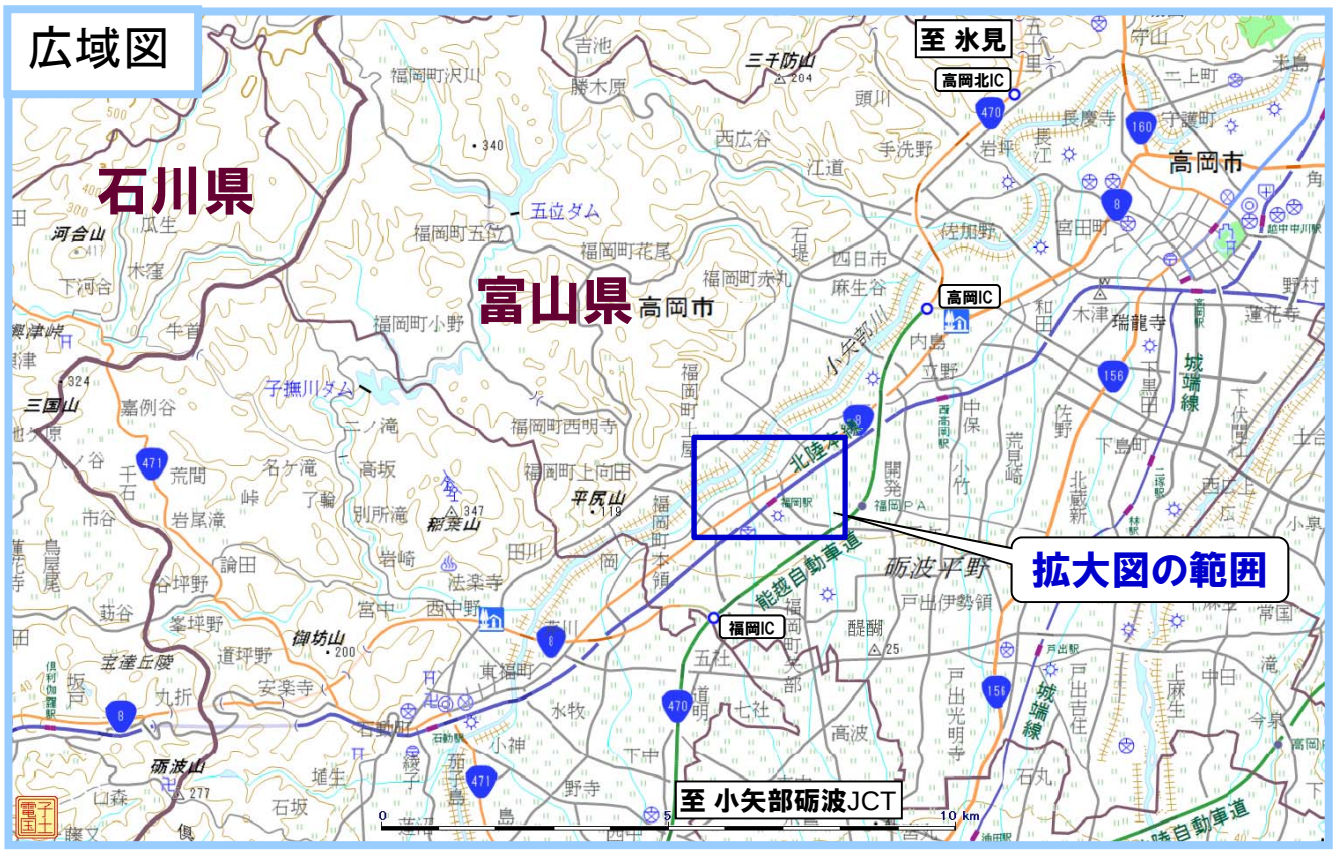
従来、新技術の活用・普及は①ＮＥＴＩＳ等によるＷＥＢ情報、②メーカー等が顧客を訪問するスタイルの営業活動、③大規模な展示会等のブースにおけるメーカー等の営業活動を主な媒体としてきました。

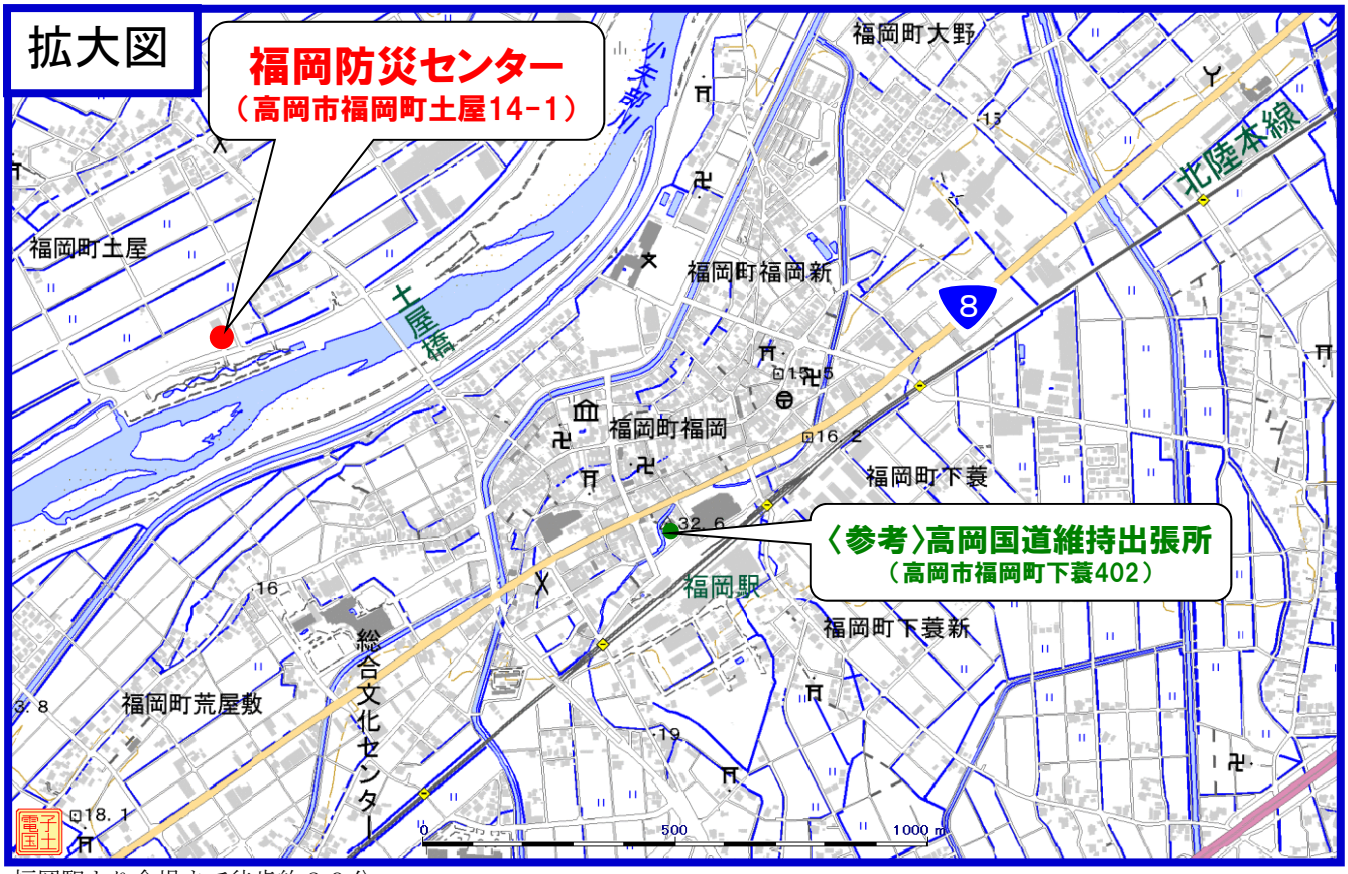
高岡地域道路安全対策協議会では、平成25年度から工事現場における新技術の活用・普及の新たな手段である、「協議会組織主催の小規模見本市」ＯＣＳＴＦ（オックステフ）（the Organizational Council for Small scale Trade Fairs）方式による説明会を開催しています。　※詳細は別紙２をご参照下さい。

お問い合わせ先
パレットとやま
高岡地域道路安全対策協議会長
（高岡国道維持出張所長）　二木　与裕　tel 0766-64-5731（直通）fax 0766-64-5921

【説明会場までの案内図】

別紙１





福岡駅より会場まで徒歩約２０分

別紙２

協議会組織主催の小規模見本市

OCSTF（オックステフ）（the Organizational Council for Small scale Trade Fairs）

施工者の関心が高い新技術の情報提供・収集について、安全対策協議会等（以下「安協等」という）の事務局が施工者とメーカー等の間に入って説明対象新技術を調整し、小規模な見本市を開催する取組み

※OCSTFは、平成25年11月に高岡地域道路安全対策協議会が発案した取組みです。

１．本取組みの特徴

・ 安協等の**小規模な組織による展示説明会**とすることで、主催者の準備期間や開催費用を低減でき、メーカー等も新技術の認知度向上等、ある程度の成果が見込める。
（産業展示館の様な大規模な会場ではなく、現場単位の様な極小規模でもない。）

・ 現場のニーズに合った内容とするため、施工業者に関心が高い新技術について、事務局から**事前に意見照会**し、説明対象新技術を抽出する。結果として、メーカー等は関心を持っている施工者に的を絞った説明ができるので、効率的な営業活動ができる。

２．本取組みの目的

・ 工事現場で活用できる新技術の情報提供・収集にあたり、従来、発注者、施工者、メーカー等の各者が抱えていた以下の障壁を取り除き、小規模な説明会を実施することで新技術の活用を促進する。

① 事務局（発注者）

従来　数多くの新技術を展示・説明するには大規模な会場が必要であり、準備期間と開催費用がかかる。また、発注者が明確な根拠なく特定の新技術だけの情報提供を行うことは、公平性に欠く。

OCSTF　安協等が手配する小規模な会場での説明会とすることで**準備期間や開催費用を低減**。また、事前に事務局が施工者に意見照会をかけ、施工者の関心が高い新技術を抽出することで、対象技術選定の**透明性を確保**。

②会員（施工者）

従来　新技術を活用する際、パンフレットやＷＥＢの情報だけでなく、実物を見てから現場で使いたいが、展示会等の機会は少ない。また、個別の問合せは、メーカー等に問合せた現場での活用を期待させてしまうため、消極的になる。

OCSTF　安協等が団体としてメーカー等に説明を依頼することで、メーカー等は**複数の施工者を相手として詳しい説明**を行うので、一現場の活用に対し過度な期待はかからない。

③メーカー等

従来　遠方への営業活動はある程度の規模がないと非効率であるが、参加できる展示会等の機会は少なく、展示会には必ずしも提供する技術にマッチした施工者が訪れるとは限らない。また、個別に施工者や現場を訪れて営業をしても空振りとなることがあるため、消極的になる。

OCSTF　事務局が事前に施工者に意見照会をかけ、施工者の関心が高い新技術を抽出することで、説明会には**対象技術にマッチした施工者**（複数）が集まる。

３．各者の役割

(1)事務局（発注者）

・対象事業の現場において効果が見込める新技術の抽出（ロングリスト※の作成）

※NETIS に登録した技術のうち、対象の工事現場にマッチするものを選定しロングリストを作成する。

今回、主催者である「高岡地域安全対策協議会」の事務局では以下の観点から対象技術を抽出した。

① 全・災害防止に資する技術、②道路工事の現場で適用可能な技術、③過去に能越国道出張所及び高岡国道維持出張所、能越国道維持出張所の監督工事で未活用の技術、④比較的新しい（2010 年以降登録）技術

・施工者に対する新技術の意見照会およびとりまとめ（説明対象技術の絞り込み）

・メーカー等への連絡および説明会への参加意向把握

・説明会場の手配

(2)会員（施工者）

・関心が高い新技術に対する意見の提出

(3)メーカー等

・説明会場への説明スタッフ派遣および製品サンプルやパンフレット等の準備

・対象新技術のデモンストレーションもしくはプレゼンテーション

４．平成 27 年度（第 3 回）の開催状況

－以　上－